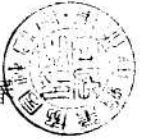


平成30年10月12日

(一社) 青森県建設業協会
会長 鹿内 雄二 様

東北建設業協会連合会
会長 千葉 嘉春



建設発生土の官民有効利用マッチングシステムについて

国土交通省においては、「建設リサイクル推進計画2014」を策定し、建設発生土やコンクリート殻等のリサイクルに取り組んでいます。

取り組みの一環として、発生土の有効利用を図るため、建設土砂搬出予定や土砂搬入予定の情報を閲覧することができるシステムを構築するなどマッチングシステムのための環境整備をしているところであります。

つきましては、建設発生土の有効利用を促進するため、貴協会会員にご周知いただき、マッチングシステムへの利用登録と積極的にご活用いただけますようよろしくお願いいたします。



平成30年10月10日

東北建設業協会連合会会長 殿

東北地方整備局 技術調整管理官

(お願い) 建設発生土の官民有効利用マッチングシステムについて

日頃より建設リサイクル行政の推進等に格別のご理解、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、国土交通省では、公共工事と民間工事の間で建設発生土の有効利用を図るため、平成27年6月より『建設発生土の官民有効利用マッチングシステム』(以下、システムという)を運用しております。

本システムは、建設発生土の情報をホームページ上で共有するシステムであり、公共機関と利用登録した民間機関の双方で建設発生土のマッチングの可能性を検討することができます。

今般、これまでの実績や関係機関等へのヒアリングを元に、官民マッチングを進める上で必要となる手続きや協定書の記載事項等をまとめた『建設発生土の官民有効利用マッチング運用マニュアル(案)』(以下、『運用マニュアル』という)を作成しました。『運用マニュアル』は、下記の『建設発生土の官民有効利用マッチングシステムホームページ』でご覧戴けます。

建設発生土の有効利用を促進するため、貴連合会より、加盟する各県建設業協会あて、運用マニュアルをご一読頂き、本システムへの利用登録と積極的にシステムを活用することについて検討頂けるよう、周知をお願い致します。

なお、本システムや運用マニュアル等についてのお問い合わせ先は、下記のとおりです。ご質問等があれば、ご連絡ください。

■建設発生土の官民有効利用マッチングシステムホームページ

<http://matching.recycle.jacic.or.jp/index.html>

■運用マニュアルに関するお問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 環境・リサイクル企画室施
工環境係 TEL: (03)5253-8111 FAX: (03)5253-1551

■システムに関するお問い合わせ先

一般社団法人日本建設情報総合センター 建設副産物センター

TEL: (03)3505-0416 FAX: (03)3505-0520 AM9:30~PM5:30 (土・日・祝を除く)

(お願い) 官民連携マッチングシステム利用に関して

(背景)

- 国土交通省は、「建設リサイクル推進計画2014」を策定し建設発生土やコンクリート殻等のリサイクルに取り組んでいます。
- 取り組みの一環として、建設発生土の有効利用を図るため、土砂搬出予定や土砂搬入予定の情報を閲覧することができるシステムを構築するなどマッチングのための環境整備をしています。
- 建設発生土のリサイクルを推進するために、マッチングシステムの利用を検討して頂けるようお願いするものです。

(内容)

- 建設発生土の工事間利用は、(リサイクル原則化ルールH18.6.12に基づき)公共工事間での利用調整を優先しているが、不調の場合、コスト削減及び土砂処分場延命化などを目的として官民工事間での利用調整を行うこととしています。
- 民間工事を受注する機会も多い、貴協会の加盟企業に「建設発生土の官民有効利用マッチングシステム」の利用をお願いするものです。
- システムの利用は、受注する工事において、建設発生土の搬出または搬入の必要性があり、かつ、公共工事との間で利用調整が可能なものの情報を登録することであり、登録すると他の建設発生土の搬出または搬入に関する情報を閲覧することが可能となります。
- システムに登録された情報をもとに、公共工事の発注者は建設発生土の搬入または搬出に関して公募を行い、民間工事はこれに応募して利用調整の対象者になる仕組みです。
- 官民マッチングは、公共工事と民間工事双方にコスト削減効果が期待されます。また、民間工事では搬出先確保や運搬距離短縮により工期短縮の可能性などの効果が期待されます。
- これまで全国で14件約15万m³のマッチング実績があり、1件あたりの最多利用土量は2.5万m³/件、最小利用土量は200m³/件です。

(参考)

- システムは、国土交通省と共同で(建設発生土官民有効利用試行マッチング)事務局をつとめる日本建設情報総合センター(JACIC)が運用しています。
- HPから利用登録してID・パスワードを取得し利用可能となります。また、建設発生土の搬出または搬入の情報登録は、HP内にあるメールアドレスに連絡することになります。
http://matching.recycle.jacic.or.jp/entry_top.html
- システムの利用は当面無料です。